

市民参画会議提言書

私たちが4回にわたり意見交換をした結果をとりまとめ、報告します。この内容が次期総合計画に生かされるとともに、市民視点のまちづくりを具体的に進められることを期待します。

《市民参画会議概要》

市民公募により21名の市民委員にお集まりいただき、「清須市第3次総合計画」の策定にあたって今後のまちづくりの方向性を考える上で、幅広い層の市民から生活に根ざした意見を聴取し、現状や目指すまちの姿などの認識を共有しながら計画策定を進めるために実施しました。

開催時期	内 容
第1回 令和5年 11月6日（月）	第1回テーマ 「今の清須市」を見つめてみよう ・市民参画会議の趣旨やスケジュールの共有 ・まちの魅力と課題について意見交換（グループワーク。参加人数によって1グループまたは2グループで実施） ・グループごとに検討結果の共有
第2回 令和5年 11月20日（月）	第2回テーマ 「10年間の重点課題」を考えよう ・第1回目の意見結果をもとに、重点課題の選定を実施（投票や課題として選定する理由についての意見交換を行い、5～7つ程度の重点課題を決定）
第3回 令和5年 12月11日（月）	第3回テーマ 「課題の解決に向けて必要なこと」を考えよう ・選定した重点課題に対応する必要な取組等について意見交換（グループワーク）
第4回 令和6年 1月15日（月）	第4回テーマ 「清須市の未来の姿」を描いてみよう ・第1回から第3回までの意見内容の確認及び提言書の作成 ・目指したい未来の姿や「こんな清須市にしたい！」と思う姿について文章やイラストにて表現するグループワーク ・市民視点で考える「清須の未来図」を描く

次期清須市総合計画 策定に向けた市民参画会議【グループA提言書】

【メンバー】 浅野 真理 伊藤 広一 桂木 歩美 加藤 淳 川上 陽平 近藤 佑
齊藤 俊二 瀬尾 重寛 中村 賢 横井 弘子 吉田 正恵

市民が創れる街・清須

1 私たちが考える今後10年間の清須市の重点課題

重点課題1 清須市の魅力の充実とブランディング

清須市には歴史・文化や名古屋市に近接して利便性が高いという強みがありますが、これといった特徴や他の地域と比べて来訪の動機になるような魅力が乏しく、魅力の発信でもまだ十分ではないと感じます。清須市の持つ既存の魅力の磨き上げや新たな特色の発掘、発信方法の工夫が必要であると考えます。

重点課題2 子ども・高齢者にやさしいまちづくり

清須市は比較的子どもも多く、子育て支援も充実していると言えますが、人を呼び込むためにも「子育てするなら清須市」と言えるような取組が必要です。また、高齢化が進む中、高齢者が積極的に外に出ていける環境や認知症にやさしいまちづくりを進めていくことが重要です。

重点課題3 公共交通などの交通手段の充実・活用

名古屋市へのアクセスや高速道路の利用しやすさなど、広域における交通網はアクセスが良好で非常に利便性の高い地域です。一方で市内のバス交通や車以外の移動手段などでは課題が残っていると考えます。

重点課題4 水害対策の強化

清須市は河川が多く、東海豪雨の経験からも水害対策は必須であると言えます。被災から年数を経て、危機意識が低下するなか、市民意識をより一層高めるとともに、改めて水害対策を強化していく必要があります。

重点課題5 行政と市民の協働体制の構築

清須市では、市民の声を行政に反映させたり、市民と行政とが意見交換したりできる機会が乏しいと感じます。市民と行政がそれぞれ意識を高めて「オール清須」でまちづくりを進めていく必要があります。

2 清須市の重点課題に対応して必要な取組の提案

「重点課題1 清須市の魅力の充実とブランディング」に向けた取組

- 清洲城、朝日遺跡、ビール工場など代表的な資源ばかりでなく、既存のイメージにとらわれない、新たな売りとなるものを創出する。また、飲食ができる場所の増加、工場見学、メディアとのタイアップ等により、人を呼び込むための多様な集客（市外来訪者）の取組を進める。【市長や民間企業等との連携】
- 市民は清須市の魅力や市内の写真スポットをSNSなどで拡散し、PRを行う。【市民】
- スタートアップ支援を行い、市の活性化を図る。【市長】

「重点課題2 子ども・高齢者にやさしいまちづくり」に向けた取組

- 子育て支援サービスの充実や認知症の高齢者を地域で見守る取組の強化を進め、子どもと高齢者にやさしいまちづくりを進める。【市長】
- 地域では身近な地域でのあいさつや子ども・高齢者の見守りを行うとともに地域のつながりを深める。【市民】
- 元気な高齢者のさらなる活躍を促す。【市長・民間企業等・市民】

「重点課題3 公共交通などの交通手段の充実・活用」に向けた取組

- 市民が利用する「あしがるバス」について増便や鉄道との連携により利便性を高める。また、バリアフリー化やベンチの増加などにより誰もが利用しやすい駅、歩道、公共空間をつくる。【市長】
- 自家用車の所有者と自動車に乗りたい人を結び付ける移動手段であるライドシェアなどについても研究を進める。【行政・民間企業等・市民】

「重点課題4 水害対策の強化」に向けた取組

- 東海豪雨等の災害に関する情報を語り継ぎ、市民の意識を高める取組を進める。低地であるなど、特に水害に遭いやすい地域においての排水対策を強化する。【市長】
- 市民、地域は避難訓練や防災フェスの開催に積極的に参加し、防災意識を高める。（春日の事例を水平展開）【市民】

「重点課題5 行政と市民の協働体制の構築」に向けた取組

- 興味をもってもらえることを進んでやっていく。【市長、市民】
- SNSを用いた情報発信やウェブサイトなど現行の情報発信ツールの使いやすさを高め、市民が今以上に行政情報を得やすくなるようにする。【市長】
- 行政と市民とが、意見交換をしたりともに考えたりする機会を、市民参画会議の開催や市民モニター制度の導入、市政説明会の実施等、多様な手段により充実させる。【市長、市民】
- 市民は市政情報に興味を持ち、まちづくりに参加・参画する意識を高める。【市長、市民】

※「行政」の執行の主体は「市長」であるので、ここでの役割分担は「行政」を「市長」としている。

次期清須市総合計画 策定に向けた市民参画会議【グループB 提言書】

【メンバー】 岩田 崇 和仁 大二郎 小林 優子 鈴木 信輝 竹田 新 柘植 将介
早川 敏之 水谷 由美子 横井 悠人 渡邊 康子

市民が誇れるまち 清須

—清須マインド・清須ブランドの確立—

清須市には清洲城などの歴史関係の資源が多くありますが、観光で清須市を訪れる印象は弱く、うまく発信できていません。市の資源や祭り、イベント等の魅力を高めるとともに市外に積極的にPRしていく必要があります。

1 私たちが考える今後10年間の清須市の重点課題

重点課題1 安心・安全に暮らせるまちづくり

市内には、夜道で暗いところがあったり、子どもたちが通学する道路であっても自動車の抜け道になってしまい交通事故の危険性が高いところがあったりし、対策が必要だと考えます。〔防犯・事故防止〕

清須市は浸水リスク、液状化リスクのある地域を有しており、過去の災害の歴史も踏まえて避難体制の強化や人々の防災意識の向上を図っていくことが急務であると考えます。〔防災〕

重点課題2 こども・若者への支援の充実

清須市は比較的子どもが多く、また子育て世代も多く暮らしています。しかし子どもと遊べる場所が少ないことや、若い世代で市外へ転出してしまう場合がみられることが課題であり、子ども・若者が暮らしやすくなるための取組が必要です。

重点課題3 自然が残る、暮らしやすい生活環境づくり

清須市は名古屋市近郊でありながら、適度な自然も残り、平坦な土地で暮らしやすい環境であり、この良さを引き継いでいく必要があります。

重点課題4 清須市の産業の活性化

市内には飲食店が少なく、また地域によっては空き家や空き店舗が目立っています。商工会などの経済団体と行政との連携を強化して市全体の産業を活性化していくことが重要だと考えます。また、新たな企業誘致や企業と地域との連携を強化するなどの取組も必要です。

重点課題5 市民によるまちづくり・コミュニティ活動の活性化

地域コミュニティにおいて、自治会加入率の低下やつながりの希薄化がみられます。コミュニティ活動の担い手が減少しており、祭りや運動会等の地域イベントがなくなったり、交流機会が不足したりしています。また、市民の市政やまちづくりへの参画意識を高めていくことも大切です。

2 清須市の重点課題に対応して必要な取組の提案

「重点課題1 安心・安全に暮らせるまちづくり」に向けた取組

- 防犯カメラの設置に関する支援や街灯の充実により安全な環境をつくる。また、市内の危険個所について市民参画への情報共有の仕組み（スマートフォン・学校・自治会等を活用）を周知徹底していく。【行政】
- 地域では見守り活動や防犯カメラの設置により犯罪や事故を抑止する環境をつくる。【市民・地域】
- ハザードマップを周知し、災害時に有効に活用する。また、防災活動・災害時対策において、要援護者やペットと暮らす人など、多様な市民に対応する取組を進める。【行政・地域・市民】
- 地域コミュニティにおいての避難訓練等を活性化させる。【行政・地域・市民】

「重点課題2 こども・若者への支援の充実」に向けた取組

- 子どもや子育て家庭を支援する病児・病後児保育や医療に関するサービスの充実を進める。また、経済的な支援を拡充することで子育て支援に優位性あるまちとし、他地域との差別化を図る。【行政】
- 学校において人権、政治、AI など多様で特色ある教育を進め、子どもを育む。【行政】
- 子どもと高齢者との多世代交流や声かけ、見守りを行い、地域ぐるみで子育てを行う。【市民・地域】

「重点課題3 自然が残る、暮らしやすい生活環境づくり」に向けた取組

- 身近な道路の雑草等の除去を行い、美しい道路環境を維持する。また、清須市の特徴でもある水辺空間や既存の公園を活かして遊びやスポーツができる場づくりを進める。【行政】
- 地域において環境美化活動を行う。【市民・地域】

「重点課題4 清須市の産業の活性化」に向けた取組

- 商工会や地元企業、行政等が連携して新たな特産品の開発（日本酒を使った料理コンテスト）やつながりの強化を進める。【行政や民間企業等との連携】
- 先端産業や社会課題の解決に寄与する企業の優先的な誘致、起業・スタートアップ支援を充実させ、産業に特色を出す。【行政や民間企業等との連携】
- 産業観光や新たな名産品の開発、他地域との広域連携などにより多面的に魅力発信を行う。【行政や民間企業等との連携】
- 企業との連携（工場名での使用）やテーマ設定（子育てしやすいまち、企業活動が活発なまちなど）を行うことで清須市の知名度を高める。【行政や民間企業等との連携】

「重点課題5 市民によるまちづくり・コミュニティ活動の活性化」に向けた取組

- 行政施策に多様な市民意見が反映されるような仕組み（交流フォーラムやSNS など）を検討する。【行政】
- 市民自身の主体的活動を促進するためのイベントや様々な分野連携の強化を図る。【行政・地域・市民】
- 地域コミュニティにおいて、既存の活動について改めて役割や目的、意義を明確にすることで活動の活性化につなげる。【市民・地域】

清須市の未来の理想の姿・イメージ(主なものを抜粋)

◎目指したい未来の姿や「こんな清須市にしたい!」と思う姿について文章やイラストで表現 ⇒ 市民視点で考える「清須の未来図」を1枚のイラストにして総合計画に登載

